

七大戦展望号

平成 16 年 7 月 23 日発行



~~~ 目 次 ~~~

1. 主 将 · 監 督 挨 拶

2. 伊勢 予選 結果

3. 七 大 戦 競 技 日 程

4. 七 大 戦 展 望

5. 記録会の結果など

主将挨拶

来たる8月1日、北海道・札幌において国立七大学対校陸上競技大会が開催されます。この大会は、京大にとってはもちろん、七大学全でにおいて自らの大学のプライドをかけた総力戦です。今年も例年通り、熾烈な優勝争いが展開されることでしょう。我々には複数の手強い相手がおり、全く油断を許さない状況ではあります。しかし、その中でも京大にはどの種目も得点できるバランスのとれた戦力があり、このような総力戦に有利です。選手各々は一点の重みを認識しており、着実に得点を重ねてくれるでしょう。そして、関西インカレで一部に勝ち残った勢いそのままに、去年は惜しくも果たせなかった優勝を成し遂げます。

女子の部においても、女子部員の増加とともに戦える布陣が整ってまいりました。最近記録を伸ばしている選手が多く、大きな舞台で躍進してくれることでしょう。

北海道での開催であり、京都に比べて涼しい気候のもと、選手たちの好記録も期待できます。遠路ではございますが、蒼穹会の皆様には是非とも競技場まで足を運んで下さり、選手たちを応援して下さいますよう、お願い申し上げます。

京都大学陸上競技部主将 磯島 弘

監督挨拶

今大会は、名古屋大学や大阪大学などの他大学も戦力が充実しており、苦戦が予想されますが、4回生をはじめ、絶対に勝つんだという気持ちで日々練習に励んでいます。後は、どれだけ選手たちを盛り上げていけるかが大事であると思います。そのため、蒼穹会の皆様(若い先輩方も)にも、是非足を運んでいただき、現役部員たちを支えていただきたいと思います。今大会は、北海道で行われるために大変だとは思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

京都大学陸上競技部監督 八木 美典

第 36 回全日本大学駅伝対校選手権大会関西学連予選会

(於 長居第2競技場)(6月12日)

種目	種別	順位	記録	氏名	日付	備考
		35 位	31.43.60	西村 好康	6月12日	
		64 位	32.17.50	山﨑 圭介	6月12日	自己新
1		69 位	32.43.71	渡辺 敬宏	6月12日	
10000	決勝	73 位	32.52.26	宮木 貴志	6月12日	自己新
		80 位	33.24.69	相澤 泰隆	6月12日	
10000m		86 位	33.33.62	宇部 達	6月12日	
1		88 位	33.40.89	田中斉太郎	6月12日	
		89 位	33.41.08	佐藤 章徳	6月12日	
		90 位	33.41.88	石塚 晶啓	6月12日	
		97 位	34.53.50	山本 直	6月12日	

レースは降りしきる雨の中行われた。気温は予想より低く、条件はよかったが、他チームとのレベルの差は否めず、多くの者が苦戦を強いられた。自己ベストを更新する者、自己ベストに迫る者もいたものの、総合成績は 10 位となり、苦い結果となってしまった。

今回は満足のいく結果ではなかったが、この悔しさをこの七大戦、秋の東大戦、そして関西学生駅伝 へと繋げて行き、来年はぜひ雪辱を果たしたいものである。

七大戦競技日程

7月31日(土) 青葉公園陸上競技場(オープンの部)

8月1日(日) 円山陸上競技場

9:30 開会式

0.00	ガムン			
	トラックの部			
10:00	男子	3 0 0 0 mSC	(決)	
10:20	男子	4 0 0 m	(予)	
10:45	男子	1 1 0 mH	(予) (予) (予)	
11:00	女子	1 0 0 m	(予)	
11:10	女子	1 0 0 m	(予)	
11:30	男子	1 5 0 0 m	(決)	
11:55	男子	4 0 0 m	(決)	
12:10	男子	1 1 0 mH	(決)	
12:20	女子	1 0 0 m	(決)	
12:30	男子	1 0 0 m	(決)	
12:50	女子	8 0 0 m	(決)	
13:00	男子	8 0 0 m	(予)	
13:20	男子	4 0 0 mH	(予)	
13:50	男子	2 0 0 m	(予)	
14:10	女子	3 0 0 0 m	(決)	
14:40	男子	$4 \times 100 \text{ mR}$	(決)	
15:00	男子	4 0 0 mH	(決)	
15:10	女子	4 0 0 m	(決)	
15:20	男子	8 0 0 m	(決)	
15:40	男子	2 0 0 m	(決)	
16:00	男子	5 0 0 0 m	(決)	
16:25	女子	4×1 0 0 mR	(決)	
16:35	男子	4×4 0 0 mR	(決)	

フィール	フィールドの部		
<跳躍>			
10:00	女子	走高跳	(決)
10:00	男子	棒高跳	(決)
11:10	男子	走幅跳	(決)
13:10	女子	走幅跳	(決)
13:00	男子	走高跳	(決)
14:30	男子	三段跳	(決)
<投擲>			
10:00	男子	円盤投	(決)
11:40	男子	砲丸投	(決)
13:00	男子	やり投	(決)
14:20	女子	砲丸投	(決)
15:00	男子	ハンマー投	(決)
17:00	閉会式		

交通アクセス

7月31日(土); JR 千歳駅下車、徒歩15分8月1日(日); 地下鉄円山公園駅下車、徒歩10分

七大戦展望

(記録は今年の春からのもの)

100m

北垣	卓 (4)	11.11
松井	延行 (3)	10.89
石田	真大 (2)	11.33

北垣はここ最近やや調子を落としているが、練習では十分走れており、一発かかればベストの更新も期待できる。ランキングでは得点圏付近の混戦の中におり、ここから抜け出せれば一気に盛り上がるだろう。

松井も現在足の不調に悩んでいるが、今期は 10"8 台を2回出しており、地力は十分である。他大学に10"8 台が二人おり、この二人を制すれば表彰台の高いとこ ろが期待できる。

石田はエントリータイムこそ 11"3 であるが、ベストは 11"1 台を持っており、ベストを更新すれば決勝そして得点が見えてくる。持ち前のパワフルな走りに期待したい。

200m

藤井	章輔 (4)	22.06
堀江	匠 (3)	22.31
松井	延行 (3)	22.42

藤井は今期序盤病気と怪我に苦しんだが、ここにきて 22"2 台を出すなど復調している。表彰台も十分射 程圏内であり、高得点が期待できる。

堀江は4継、マイルともにこなせるマルチなスプリンターであり、200m を最も得意とする。生涯ベストは22"1であり、一発が期待できる。

松井は上の二人に比べて200mの経験こそ少ないが、 持ち前の筋肉によるスピードが生きれば大ベスト、高 得点は十分可能である。

400m

村地	優樹 (4)	49.53
水谷	太郎 (2)	48.54
涌井	健策 (2)	51.92

村地は今期不調であるが、先日シーズンベストを更新し、やや復調してきた。今年の400m はレベルがかなり上がっており、上位陣に食らいつけば48"台と高得点が見えてくる。

水谷はまずまず好調であり、実力も申し分ない。優勝争いは激戦が予想されるが、本番に強くお祭り男的な存在なので、周囲が驚くようなレースを見せるだろう。

涌井は先日、前半から派手に飛ばすレースで大学ベストを大きく更新する 51"1 を出しており、勢いがあるので、決勝進出も十分射程に入っている。

800m

磯島	弘 (4)	1.56.92
岡本	英也 (2)	1.55.34
前川	真彦 (2)	1.55.55

磯島は最近の試合でようやくタイムが上向きはじめ、 調子がよくなってきた。練習でのタイムも今までで一 番の状態であり、手応えを感じている。昨年肉離れで 出場すらできなかった悔しさを本番でぶつけたい。

岡本はどの試合でもタイム、順位ともに抜群の安定 感を誇っており、優勝候補筆頭であるのは間違いない。 昨年の6位入賞は本人にとっては不本意であろうし、 雪辱を晴らして欲しい。

前川は春先から少し出遅れていたが、ここにきて練習でのスピードに磨きがかかってきた。昨年レースを主導し、見事2位に入賞した実力の持ち主。大舞台での強さをいかんなく発揮して欲しい。

800mは今年も混戦が予想されるが、現在三選手と も調子はよく、この種目は他校を大きく引き離しての 大量得点が期待できる。優勝も含め三人揃って上位入 賞を果たし、京大を勢いづかせたい。

1500m

西村	好康 (4)	3.54.05
三好	達也 (3)	4.07.82
加藤	圭祐 (2)	4.15.12

西村は昨年の優勝者。体調が思わしくなく、練習がなかなか積めていない状態だが、それでも先日の関西インカレでの力強い走りを見ると優勝を期待してしまう。1500mも混戦が予想されるが中距離種目の特性上、勝負強さが勝敗の決め手となる。勝負強さでは彼の右に出る者はいない。是非スタンドの京大応援席を沸かせてほしい。

三好は関西インカレ、京都選手権など最近の試合において自己ベスト近い4分7秒台を連発しており絶好調。大舞台で爆発してくれそうな雰囲気である。ここは一気に3分台を見据えるタイムをたたき出して入賞を果たしてほしい。

加藤も先日の岐阜選手権で自己ベストを更新し、練習メニューもきっちりこなすなど大変調子がいい。得点に絡むのは難しいだろうが、レースには最初から積極的に絡んでいってほしい。今後につながる走りを期待している。

5000m

渡辺	敬宏 (4)	15.31.13
石塚	晶啓 (3)	15.45.64
宮木	貴志 (3)	15.38.9

渡辺は最初で最後の七大戦出場となる。例年この時期は暑さのため体調を崩していたが、今年は北海道なので大丈夫だろう。

石塚は先月末にこの種目で自己ベスト近い記録を出 しており調子はよいだろう。

宮木は少し体調を崩し気味だが練習ではまずまず走れているのでそれほど心配ないだろう。 ただ不調の西村を欠くため厳しい戦いになるだろう。

110mH

尾崎	禎亮 (4	15.48	
垣畑	陽 (4	15.69	
萩澤	佑樹 (1	15.82	

尾崎は現在不振に悩んでいるが、ベストは 15"4 台を持っており、うまくピークを合わせれば得点が十分見えてくる。

垣畑は今期十種競技において着実に 110mH のタイムを伸ばしてきており、今回は十種より競技数が少ないこともあり、さらにタイムを伸ばす可能性が高い。

萩沢と補欠の白方は同タイムであり、直前まで調子を見てどちらが出るかを決める。そのため二人が切磋 琢磨して大きくタイムを伸ばすことが期待できる。

400mH

桑原	昇 (2)	56.34
水谷	太郎 (2)	51.94
白方	朗文 (2)	60.44

桑原は昨年からタイムが伸び続けており、今期も着 実にベストを更新していて勢い十分である。得点も十 分射程圏内である。

水谷はダントツの優勝候補であり、頭一つ抜けている。チームに勢いをもたらす快走が見られるだろう。 白方は 110mH が本職であるが、400mH にも出場する。ハードルの技術は高く、引っかかれば大きくタイムを伸ばしてくるだろう。

3000mSC

大崎	友数	(4)	9.56.98
田中斉	太郎	(4)	10.23.02

大崎はスタミナ面に不安はあるものの練習ではそこ そこ走れており自己ベストは十分狙えるだろう。

田中(斉)は先日大学で初めてこの種目に出場し、出場権を獲得した。昨年優勝した佐藤が抜けたため厳しい戦いとなるだろう。

4×100mR

北垣 卓(4)

藤井 章輔 (4)

杉本 昌大 (3)

堀江 匠 (3)

松井 延行 (3)

石田 真大 (2)

オーダーは現時点では北垣、藤井、堀江、松井の予定であり、走順は未定である。松井を軸としたチームに、今期序盤は離脱していた 10 秒台を持つ藤井が復帰してきたことで強みが増した。

また、補欠の杉本、石田も実力ある選手であり、層が厚い。試合中盤のこのレースで熱い走りを見せて、 チームに流れを呼び込むことが期待できる。

4×400 mR

北垣 卓 (4) 藤井 章輔 (4)

村地 優樹 (4)

堀江 匠 (3)

水谷 太郎 (2) 涌井 健策 (2)

オーダーは現時点では藤井、村地、堀江、水谷の予定であり、走順は未定である。マイルは今期蒼穹記録を樹立していて勢いがあり、また悪くても3'18 を切っていて安定感もある。

さらには補欠の涌井は好調でマイルメンバーを狙っており、北垣は昨年の関カレのマイルメンバーであるなど、層の厚さも申し分ない。最後のレースをぜひ優勝で締めくくりたい。

走高跳

垣畑	陽 (4)	1m80
横矢龍	之介 (3)	NR
松久	佳弘 (1)	1m75

横矢は今年高跳びを再開し、試合には出ていないものの力を戻しつつある。エントリーは記録無しだが生涯ベストは 193cm であり、これが更新されればかなり得点の可能性がある。

垣畑は自己ベスト 185cm を一発クリアし、あわよくば6位に滑り込もうとの目論見。

松久もまずは 185cm のベストを目指す。

棒高跳

垣畑	陽 (4)	3m70
平野	聖 (4)	3m70
浜田	良太 (4)	3m10

棒高跳びは上位入賞は難しいが、垣畑、平野はともに実力を出せば得点が見込める位置にいる。同記録に数名が並び潰し合いになる可能性もあるが勝負強く二人で3点を取ることを狙う。

浜田は自己記録は入賞ラインに遠いものの練習では3m50を越えており、伏兵として得点を目指す。

走幅跳

杉本昌大(3)7m16高橋孝治(2)6m53萩澤佑樹(1)6m54

杉本は今期ケガも癒え、生涯ベストを更新するなど 安定して実力を発揮している。おそらく東大勢二人と の戦いとなるが是非優勝を勝ち取ってほしいところ。 そろそろ生涯ベストの欲しい

高橋と高いポテンシャルを見せる新入生萩沢は、まず決勝進出、そこから入賞を狙う。

三段跳

福山 大典 (4) 15m38 横矢龍之介 (3) 14m22 北島 明文 (2) 12m88

ここでも東大の藤田が優勝への難関となる。福山が 関西、全国インカレでの鬱憤を晴らし、連覇を果たす ことに期待。

横矢はパフォーマンス次第で獲得点数が大きく変わってくる位置。生涯ベストそして高得点を目指す。

伸び盛りの北島は大ベストが見込まれる。決勝目指して頑張ってほしい。

砲丸投

竹村顕大朗 (4) 12m55 森川 陽介 (2) 12m64 田中 聡一 (2) 10m30

京都ICにおいて不調により森川に関西ICの枠を奪われた竹村であるが、京都IC以降着々と名誉挽回のため練習を重ねており、本番では13m台を狙っている。

一方森川は、関西 IC 以降調子は今ひとつだが、その対策に特訓をしているようなので問題ないと思われる。

田中も調子次第では得点できる可能性があるため、 是非とも全員得点を狙っていきたいところである。

円盤投

垣畑 陽 (4) NR 吉崎 敬祐 (2) 31m99 森川 陽介 (2) 29m44

今回、全員が30m台を出せる力を持っており、非常に拮抗した顔合わせとなっている円盤投げ。 森川は学内選考会にて非公式ながらも33m台を出し、現在事実上のトップとなっている。

さらに、十種選手である垣畑も安定した実力をもち、 本人の希望で記録なし扱いとはなっているものの、上 位に食い込む可能性は高い。

吉崎は、怪我の再発を繰り返しあまり良い体調とは言い難いが、専門の意地を見せてくれることであろう。

ハンマー投

 木村
 克也 (3)
 36m41

 田中
 聡一 (2)
 35m57

 吉崎
 敬祐 (2)
 NR

関西 IC では天候のせいもあったとはいえ、芳しい記録が残せなかった木村だが、それ以来練習をつんできているので結果を残してくれることであろう。

一方、最近成長の著しい田中は本番では40mを投げると意気込んでいる。

吉崎は記録は無いが、今回のハンマー投げは前回よりレベルが低くなっているので得点の可能性も十分ある。

やり投

 松田
 俊(3)
 50m29

 野々垣春戸陽(1)
 NR

 山本
 貴之(1)
 NR

今回の槍投げは野々垣、山本と1回生が2人入っており、山本は初試合、野々垣は初の対抗戦ではあるが、高校時代の持ち記録は二人とも50mを越えており、受験でなまった体も元に戻ってくる頃であるため、高記録が期待できる。

松田はオーバートレーニングによる故障で思ったように練習できずにいるが、是非とも意地を見せて欲しいものである。

女子100m

滝上 伸子 (4) 14.07 海野 益代 (2) 13.84

滝上は今期大学ベストを着実に更新しており、さらに記録を伸ばして 13 秒台、生涯ベストの更新が期待できる。

海野も今期に入り、大学ベストを更新しており、走り幅跳びでは蒼穹記録を樹立するなどよい流れで来ている。二人とも得点は少し厳しいが、熱い走りでスタンドを沸かせてほしい。

女子 400m

横田 裕子 (1) NR

横田は大学では 400m は初レースとなるが、高校時代は 100m を専門とし、大学では中距離を専門としていて練習が積めており、スピードとスタミナがうまくかみ合って好記録を出すことが期待できる。得点は厳しいが、これからにつながる走りを見せてもらいたい。

女子800m

岩瀬 祥子 (4) 2.34.71 川口紗弥香 (1) NR

岩瀬は最近自己ベストを更新し、七大戦を控えた現在も好調を維持している。最近はスピード練習で力強い走りを見せており、やる気も申し分ない。自己ベストを出し、是非入賞を果たしてほしい。

川口は今後期待の一回生である。800m は記録なしであるが、1500m で5分10秒の記録を持っており、不安はない。最近の質・量ともに充実している練習メニューもきっちりこなせている。若い力でどこまで記録を伸ばしてくれるか楽しみである。

女子3000m

中村奈都子 (4) 11.17.68 山下 里絵 (4) 11.15.06

山下、中村はともに今シーズン自己ベストを連発しており、着実に力をつけているようである。得点は厳しそうだが二人とも最後の七大戦なので悔いのないように走ってもらいたい。

女子 4×100mR

北川 佳奈 (4)

滝上 伸子 (4)

海野 益代 (2)

森村あかね (2)

河合 春菜 (1)

横田 裕子 (1)

現時点では北川、滝上、海野、横田が走る予定であるが、走順はまだ決まっていない。今年は補欠も含めて短距離、ジャンプ系の選手でそろえることができた。女子四継は東大と名大が頭一つ抜けているが、後は混戦が予想される。東大と名大に食らいついて混戦から抜け出してほしい。

女子走幅跳

海野 益代 (2) 5m21 森村あかね (2) 4m73

走り幅跳びはランキング1、3位であり、高得点が 期待できる。海野は優勝はもちろん5m3、40を出 してさらに蒼穹記録を更新してほしい。森村はランキ ング2位の原田を抑えて1、2位を独占してほしいと ころ。5mオーバーにも期待。

女子走高跳

海野 益代 (2) NR 河合 春菜 (1) NR

海野は初出場かつ多種目出場だが、練習で 45 を跳んでおり、ランキングを覆して上位入賞も狙える。

1回生河合はベストは 50 であり、どこまで力を発揮するか。この種目も大量得点を目指す。

女子砲丸投

北川 佳奈 (4) 7m43 森村あかね (2) NR

前回の七大においても出場した北川であるが、最近研究室が桂に移転され、農学部グラウンドへ来づらくなっているせいか、思ったようには練習できていないが、七大に向けての調整は進んでいるようなのでそれなりの結果は見せてくれるであろう。

森村は今回初参戦であるが、練習は非常に熱心であり、結果にも期待できそうである。

個人戦・記録会などの結果 松井 延行 22.47 -0.4 水谷 太郎 22.62 -0.2 PB 花谷 直人 22.66 ±0.0 杉本 昌大 22.88 -0.2						
第3回京都陸協記 100m 佐藤真一郎 大野 淳史 浜田 良太 河野 良 400m	録会 (5/8 11.56 +0 11.66 -1 11.86 -1 12.63 -1	.1 .7 CB .7	堀江 匠 北垣 卓 大野 淳史 藤森真一郎 西村 広展 森	22.98 23.43 23.50 24.12 25.44 26.50	±0.0 -0.6 -0.8 -0.2	СВ
涌井 健策 真鍋 文朗 河野 良 1500m	52.15 53.89 55.33	РВ	400m 涌井 健策 藤森真一郎 真鍋 文朗 中尾 太郎	51.93 53.89 54.11 55.73		СВ
佐藤 章徳 三好 達也 5000m 宮木 貴志	4.03.73 4.10.09 15.52.87	СВ	800m 磯島 弘 前川 真彦	1.56.92 1.57.63		СВ
110mH 佐藤真一郎 三段跳	15.37 -1	.6	桑原 昇 三好 達也 水井 研吾 1500m	2.00.68 2.01.28 2.07.50		СВ
福山 大典 女子 100m 滝上 伸子	14m44 ± 14.24 +0		1300m 加藤 圭祐 400mH 水谷 太郎	4.21.11		
奈良市民体育大会		也)	前川 真彦 3000mSC	51.96 56.29	•	
中尾 太郎 第2回奈良市記録	11.57 +0 会 (5/30 鴻池)		大崎 友数 福原 徹彦 山城 丈 4×400mR	10.04.54 10.31.49 10.33.01)	РВ
100m 村垣江野森戸垣江森野の 100m 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	11.05 -0 11.52 -0 11.58 -0 11.74 -0 12.03 ± 12.27 -0 11.69 -4 11.77 -2 11.95 -1	2.4 2.4 3.8 3.4 0.0 0.2 PB .0 2.5 .3 PB .7 2.7 2.7 2.6 2.7 2.6 2.7	中尾・水ののでは 中尾・水のででである。 中尾・水のでである。 中尾・水のでである。 一般では 一般では 一般では 一般では 一般では 一般では 一般では 一般では	14m17 13m73 13m43 41m92 14.07 4m51 5m06 (6/19 尼崎 15.49.39 16.36.15	+2.6 +0.2 +3.5 +1.9 +0.7 ±0.0	CB
藤森真一郎 真鍋 文朗 1500m 大崎友数	53.49 53.71 4.24.7	PB PB	岡本 英也(予) 岡本 英也 4位 第1回宇治市陸協	1.57.19		'丘)
110mH 萩澤 佑樹 萩澤 佑樹	15.82 -0 16.04 +1	1.5	100m 石田 真大 北垣 卓 平野 聖 河野 良	11.59 11.89 12.27 12.94	-1.4 -1.4 -1.0 -1.6	٠
第 2 回学連記録会 100m 水谷 太郎 石田 真大 大野 淳史 森	11.34 ± 11.36 +2	0.0 0.7 0.0 CB	河野 R 800m 木村 善則 女子 100m 滝上 伸子 女子 800m 岩瀬 祥子	2.07.56 14.37 2.36.96	+1.1	

横田 裕子 : 女子 3000m 山下 里絵		РВ	大野 淳史 松井 延行(準) 花谷 直人(準)	11.75 11.02 11.18	-0.6 +0.3 +0.4	
岡山県陸上競技選手 3000mSC	権大会		200m 藤井 章輔 藤井 章輔 (準)	22.36	-0.8 -0.2	
山崎・圭介	9.34.45		400m 涌井 健策	51.10	СВ	
北海道サロマ湖 100 100km	km マラソン(6/26)		堀儿 丘 藤森直一郎	51.19 52.36	PB	
山城 丈 122 位			真鍋 文朗 堀江 匠(準)	52.99 51.99	PB	
日本インカレ(7/2-4 400mH	4 国立競技場)		800m 磯島 弘 (予)	2.02.47		
水谷 太郎 3000mSC			磯島 弘 (予) 磯島 弘 (準) 磯島 弘 6位	1.57.73 1.56.74	СВ	
佐藤 章徳 14 位: 10000mW			1500m 三好 達也			
三段跳	DSQ		5000m 佐藤 章徳	17.53.55		
	NR		110mH 佐藤真一郎	15.11	-0.5	
岐阜県陸上競技選手 1500m			萩澤 佑樹 尾崎 禎亮 佐藤真一郎 6位	16.12	-0.8 -1.1	
	4.15.12		佐藤具一郎 612 400mH	14.90	+1.4	
第 72 回大阪陸上競 100m	技選手権大会 (7	/3-7-4長居)	400mH 桑原 昇 3000mSC 佐藤 章徳 3位	5/./5		
松井 延行 北垣 卓	11.19 -1.6 11.61 ±0.0		佐藤 章徳 3位 田中斉太郎		СВ	
松井 延行 (準) 200m	11.07 ± 0.0		4×100mR 石田-大野-北垣-山			
第72回入WYELRS 100m 松井 延行 北垣 卓 松井 延行(準) 200m 北垣 卓 村地 優樹 400m	22.99 -0.8 23.76 -1.0		平野-佐藤-粟村-康 石田-大野-北垣-山 5000mW	議 44.53 」岸 43.40	(7位)	
村地優樹	50.06		杉本 明洋 1位	21.23.90		
村地 優樹(準)村地 優樹 4位	49.46 50.50		棒高跳 佐藤真一郎 5位 走幅跳	3m40		
	1.59.60		萩澤 佑樹 森 一		+0.4 CB -1.2	
前川 真彦(準)	1.57.78 1.58.13		→ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		-1.2	
磯島 弘(準) 前川 真彦(決)	1.58.71 1.59.11 (7位)			Timoo		
	16.02 -1.3		記号の見方 : 男子種目	• +1	子種目	
走幅跳 杉本 昌大 8位 (三段跳	6m79 ± 0.0		PB:自己新記録 CB:大学におけ	i K		
福山 大典 4位	13m99 ±0.0		CD: X(FICO)		ル	
十種競技 垣畑 陽 4位 5977点						
(11.73-6m56-10m14 -43m71-4.58.44)	4-1m/0-53.09-15.6	9-31m93-3m60				
花谷 直人 6位: (11.30-6m02-8m78-		-20m06-3m00-				
36m60-4.57.78)						
佐藤真一郎 7位: (11.53-6m27-7m45-		-NR-3m70-27				
m17-4.58.08)						
京都選手権(7/9-11 100m	西京極)					
松井 延行	11.17 -0.1 11.24 -0.1					
	11.43 -0.1	1	0			



蒼穹ニュース 平成16年度 第3号 平成16年7月23日 発行

発行所:京都大学体育会陸上競技部

編集者: 高橋孝治・中尾太郎・山本直・吉崎敬祐(副務) 特別協力: 森一・田中齊太郎(学連員)・滝上伸子(体育会員)

山田修裕(記録係)·山下輝芳(HP係)

写真担当:石田真大・松久佳弘・森川陽介

陸上競技部 HP http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/index.html http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/soukyu.htm

陸上競技部記録 HPhttp://homepage2.nifty.com/bridge-as/関西学連 HPhttp://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htmメールアドレスdiscus-k@amber.plala.or.jp (吉崎)